

定例記者会見（5月）次第

平成30年5月8日（火）

午前10時～

市長公室広報広聴係

<出席者>

酒田市／市長、副市長

危機管理監、地域創生部長、農林水産部長

酒田記者クラブ／各社

幹事社／朝日新聞、YBC（5月・6月）

1 開 会

(1) 発表事項

- ① 酒田駅前再開発の進捗状況について（都市デザイン課）
- ② 酒田希望音楽祭 音楽のまちプロジェクト「市原多朗マスターコース」の開催について（社会教育文化課）

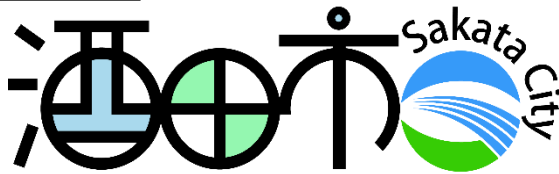
(2) 懇談・フリー質問 [幹事社]

(3) その他

2 閉 会

◆その他配布資料

- ① 酒田コミュニケーションポート（仮称）整備実施計画を策定しました（都市デザイン課）
- ② 酒田まつりの開催について（交流観光課）
- ③ IWC2018「SAKE 部門」やまがた開催記念日本酒チャリティ試飲会の開催について（交流観光課）
- ④ いか釣り船団出航式の開催について（農林水産課）
- ⑤ 酒田ととけん応援まつりについて（農林水産課）



平成 30 年 5 月 8 日

酒田記者クラブ加盟社 各位

酒田駅前再開発の進捗状況等について

酒田駅前再開発について、現在の進捗状況等をお知らせします。

◆ポイント

- ・酒田駅前再開発の実施設計のイメージパース（外観、内観）ができましたので、パネル展を行います。

【駅前再開発の実施設計の内容等】

○別添のとおり

【酒田駅前再開発に係るパネル展】

- 日 時／5月14日（月）～6月17日（日）
- 場 所／中央図書館、市役所1階フリースペース
- 内 容／整備イメージパースなどの展示

●お問い合わせ／都市デザイン課

都市デザイン係 本間宏樹、土井勝

TEL 26-6274、FAX 26-6482

Eメール toshi-design@city.sakata.lg.jp

酒田駅前地区第一種市街地再開発事業の整備概要について

1 施行者（個人施行）

- (1) 名称 光の湊株式会社
 (2) 出資割合 西松建設株式会社 50%、酒田市 50%

2 経過等（予定）

平成28年12月27日	施行会社設立
平成29年3月27日	都市計画決定（高度利用地区・市街地再開発事業）
平成29年10月30日	事業計画施行認可
平成30年3月29日	権利変換計画認可
平成30年4月12日	権利変換期日
平成30年7月（予定）	着工
平成33年3月（予定）	完成

3 事業概要（実施設計内容）

- (1) 整備区域 1.4ha（周囲の道路中央線等まで含めた面積）
 (2) 敷地面積 9,651㎡（周囲の道路を除いた敷地）
 (3) 延べ床面積 24,024㎡（事業提案時より約1,700㎡増加）

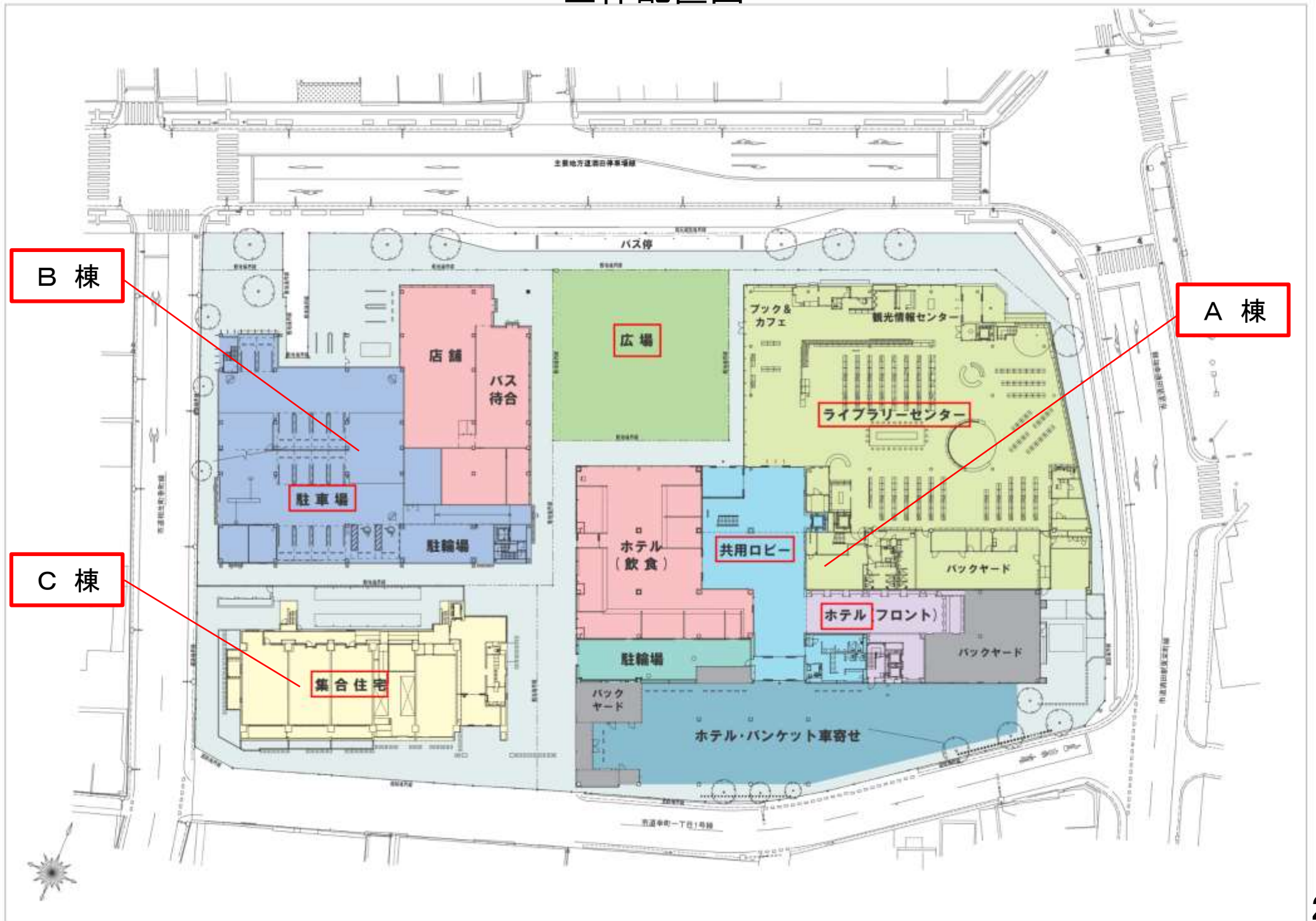
	A棟	B棟	C棟
敷地面積	5,254㎡	2,349㎡	1,403㎡
床面積	11,489㎡	7,444㎡	5,091㎡
階高	地上8階	地上5階	地上10階
構造	鉄骨造	鉄骨造	鉄筋コンクリート造
用途	公共施設（ライブラリーセンター・観光情報センター・広場等）、ホテル、バンケット、レストラン等	立体駐車場（262台）、商業店舗（コンビニエンスストア、バス・トラベルカウンター）	分譲住宅（57戸）

（全体敷地面積は、本表のほかに広場645㎡を加える。）

4 基本設計からの主な変更箇所

- (1) 読み聞かせコーナーの防音対策として、壁で仕切った空間を設置（P11）
 (2) 駅側からのバリアフリー対策として、駅側入口付近にエレベータを設置（P3）

全体配置図

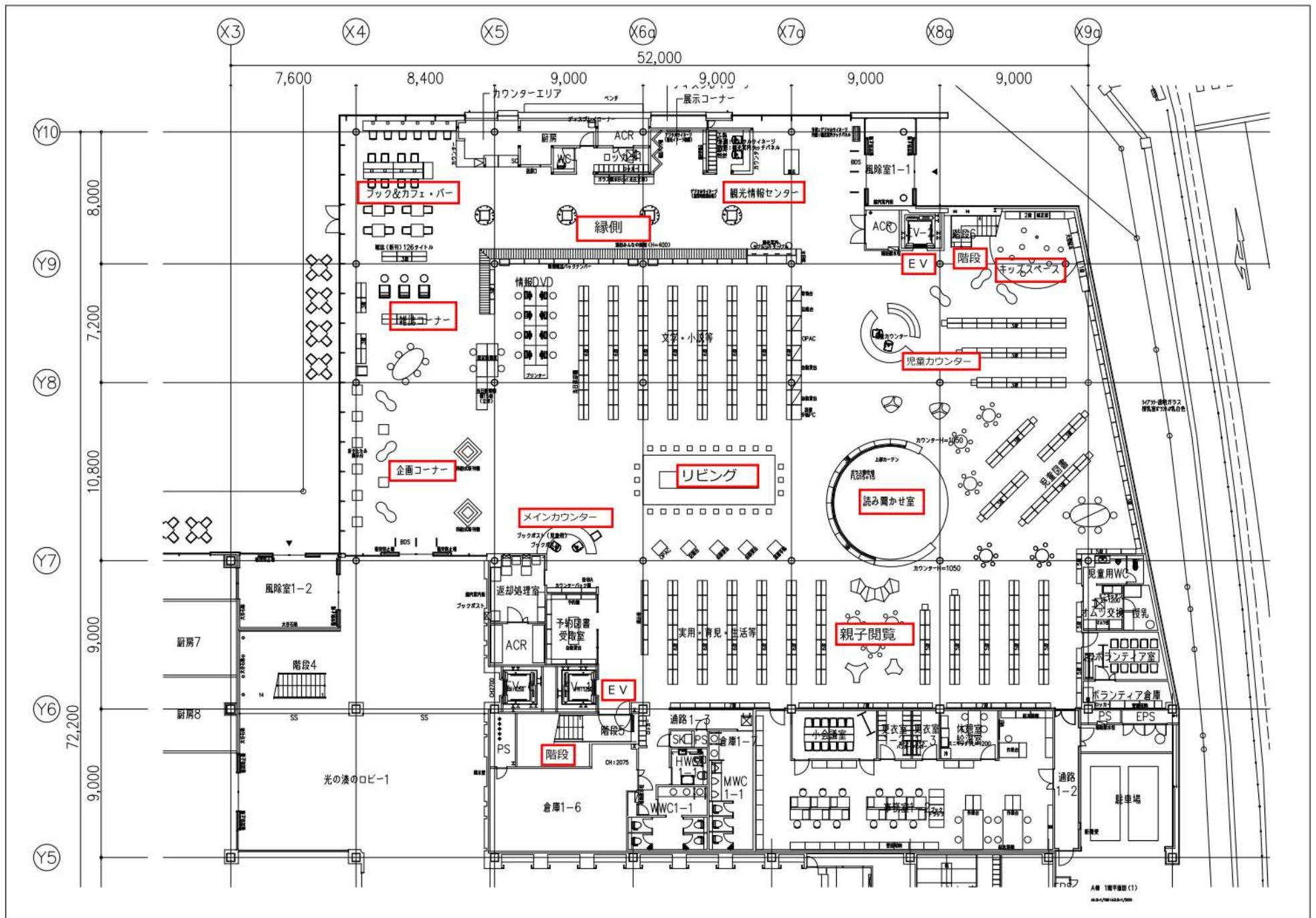


B 棟

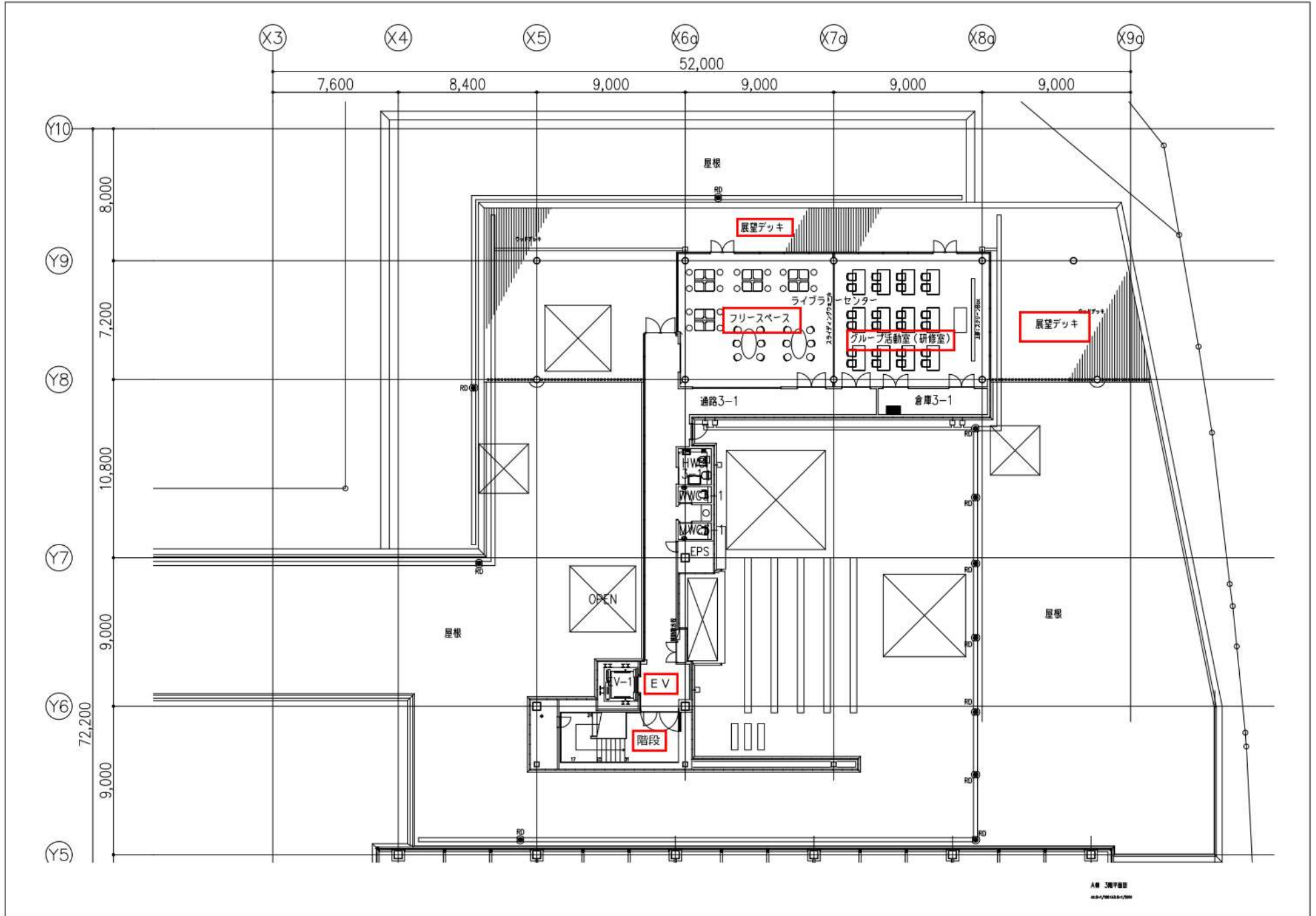
A 棟

C 棟

(A棟／1階) ライブラリーセンター平面図



(A棟／3階) ライブラリーセンター平面図









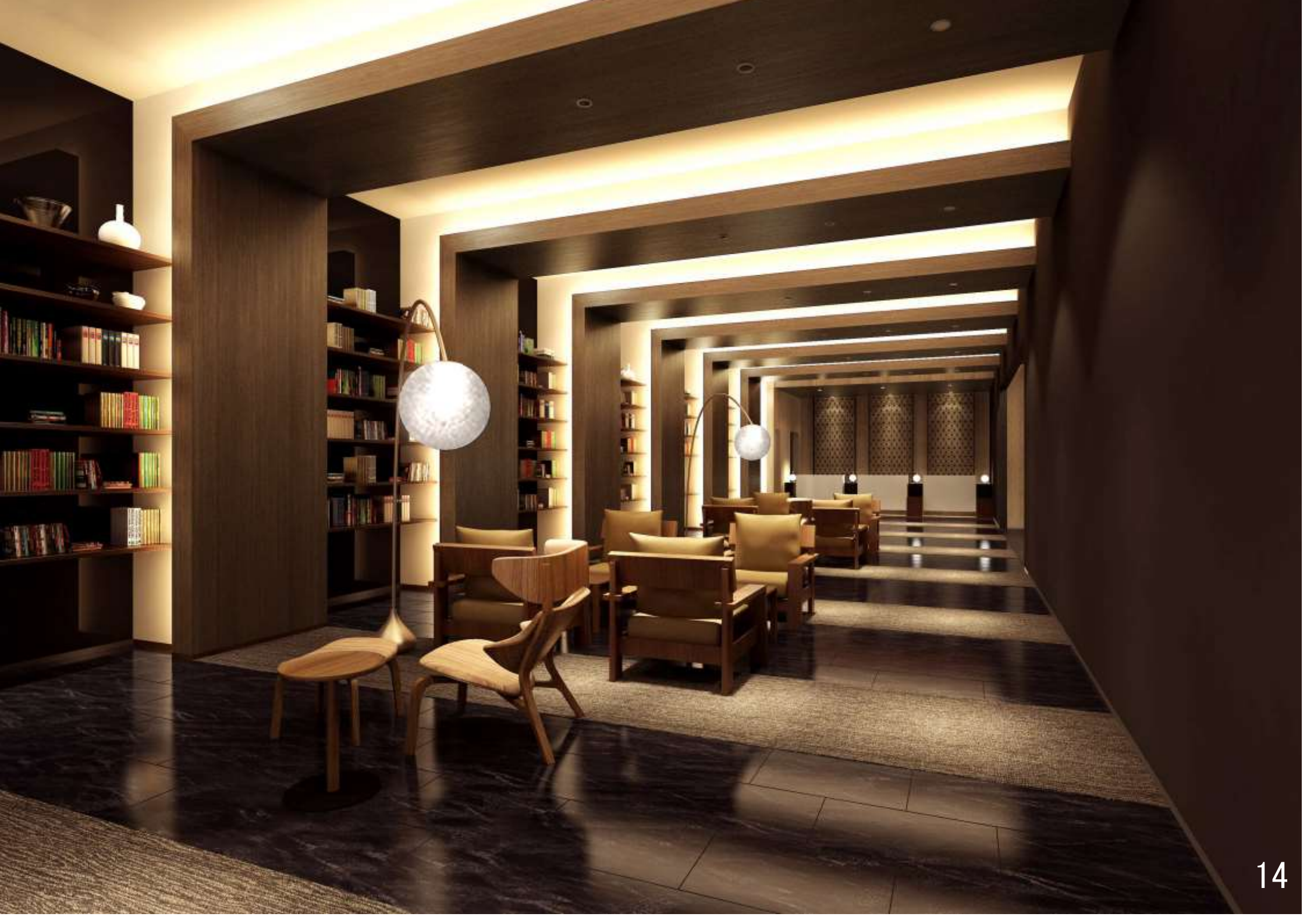








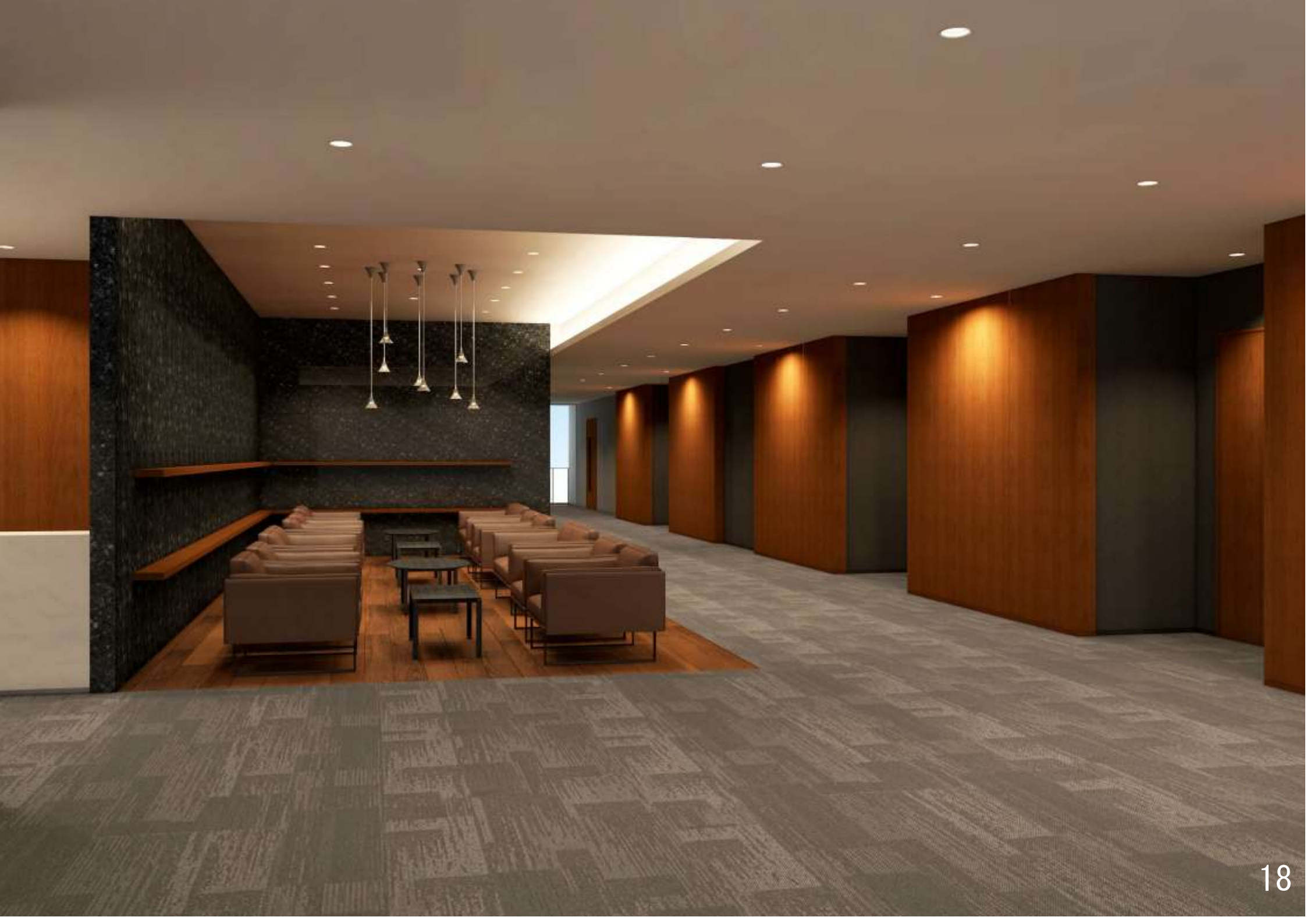


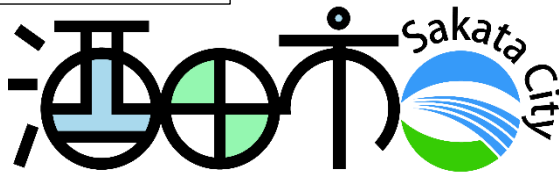












平成 30 年 5 月 8 日

酒田記者クラブ加盟社 各位

＜酒田希望音楽祭＞ 音楽のまちプロジェクト『市原多朗マスターコース』の開催について

このたび、酒田市では酒田市文化芸術基本条例並びに酒田市文化芸術推進計画に基づき、酒田希望音楽祭の事業の一環として、酒田市名誉市民である市原多朗氏の協力の下、下記の事業を実施いたします。

つきましては、取材に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

- 市原多朗氏は、世界の有名な歴史ある歌劇場で主役として活躍した日本を代表するオペラ歌手です。
- このたびは、声楽家としてのみならず、指導者としての市原多朗氏の力を、本市の音楽文化の発展並びにひとづくり、まちづくりに生かしていくために実施します。
- 市原多朗氏による個人レッスンの様子を公開で行うとともに、若手声楽家による「希望の船出コンサート」を開催します。

【公開レッスン】

- 市原多朗氏による個人レッスン
日時／6月2日（土）午後2時～5時
場所／希望ホール小ホール
受講者／若手声楽家6人
- 伴奏プロによる伴奏法講座
日時／6月2日（土）午後6時～7時30分
場所／希望ホール小ホール
講師／山口佳代氏（東京藝術大学講師）

【コンサート】

- 日時／6月3日（日）午後2時開演（1時開場）
場所／希望ホール
出演／若手声楽家6人
チケット／発売中

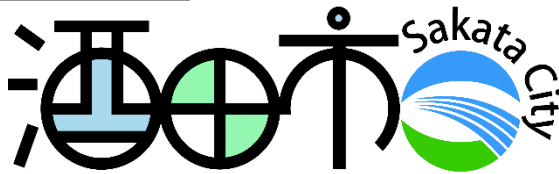
◆事業の詳細については別添資料をご参照ください。

●お問い合わせ／社会教育文化課 文化芸術係 小松 千佳

TEL 24-2982、FAX 24-5780 Eメール shakai@city.sakata.lg.jp

＜酒田市文化芸術推進計画に基づいた新規事業＞				
条例/基本的施策No.	事業名等	事業内容	事業内容	詳細
酒田市文化芸術基本条例 第20条	酒田市文化芸術 推進審議会関係	<p>【条例により設置される審議会に関すること】 ○審議会委員:10名以内(学識経験者等)</p>	○審議会の開催	<p>○目的:条例に基づいて策定した推進計画の達成度や効果についての点検、調査、審議を行う</p> <p>○日時:年3回開催 1回目 6月24日(日) 2回目以降調整中</p> <p>○審議会委員:教育委員会が委嘱</p>
2 誰もが芸術文化に親しむ ことが出来る文化的環境 の整備	文化芸術推進事業	<p>【酒田希望音楽祭2018育成事業】</p> <p>目的:市内中学校の吹奏楽部のレベルアップ</p> <p>内容:プロによる演奏指導</p> <p>講師:山形交響楽団奏者、新日本フィルハーモニー交響楽団奏者など</p>	○楽器講習会 (クリニック)	<p>【トランペット奏法に関する楽器講習会】 ○日時:平成30年6月17日(日)午前10時～</p> <p>○講師:井上直樹氏(山形交響楽団首席トランペット奏者)</p> <p>○対象:酒田飽海地区吹奏楽連盟に所属する方</p> <p>○人数:20名</p> <p>※上記以外にも、山形交響楽団楽団員による楽器講習会を年間10回程度行う予定</p>
3 学校教育における文化芸術活動の充実				<p>【新日本フィルハーモニー交響楽団楽団員による楽器講習会】 ○日時及び会場等: 現在調整中</p>
4 将来の文化芸術の担い手の育成				<p>【新日本フィルハーモニー交響楽団楽団員によるアウトリーチ】 ○日時及び会場等: 現在調整中</p> <p>○訪問校: 特別支援学校ほか</p> <p>○講師: 荒川洋氏(フルート副首席奏者)ほか</p>
2 誰もが文化芸術に親しむ ことが出来る文化的環境 の整備	文化芸術推進事業	<p>【酒田希望音楽祭2018 音楽の街プロジェクト 市原多朗マスターコース事業】</p> <p>目的:市民の音楽に対する関心を高めるとともに、音楽による酒田市外への発信や交流を図るもの。また、プロのレッスンの様子をおし、青少年が高い音楽性を目指す動機付けとなることを目指す。</p> <p>内容:声楽家として内外での活躍が期待されている若手声楽家を招聘し、市原多朗氏が、特別レッスンを行い(公開あり)、最終日には若手声楽家のコンサートを開催する。 なお、アーティスト達は初日市内にホームステイをする。</p>	○公開レッスン ○コンサート	<p>【公開レッスン】 (1)市原多朗氏による公開個人レッスン ○日時:平成30年6月2日(土)午後2時～5時</p> <p>○会場:希望ホール小ホール</p> <p>○講師:市原多朗氏</p> <p>○受講者:若手声楽家6名</p>
4 将来の文化芸術の担い手の育成				<p>(2)伴奏プロによる伴奏法講座 ○日時:平成30年6月2日(土)午後6時～7時30分</p> <p>○会場:希望ホール小ホール</p> <p>○講師:山口佳代先生(東京藝術大学講師)</p>
5 文化芸術活動を支える人材の育成				<p>【オペラアリアコンサート】 ○日時:平成30年6月3日(日)開演:午後2時</p> <p>○会場:希望ホール</p> <p>○出演:若手声楽家6名</p>
酒田市文化芸術基本条例 第13条	文化芸術推進事業	<p>【酒田市アートコーディネーターの配置】</p> <p>目的:文化芸術に関する専門性を有した人材を配置することで、他分野との連携や協働を促進し、より効果的な事業の展開を目指すもの。</p>	○アートコーディネーターの配置	<p>酒田市アートコーディネーター:坂田雄平氏</p> <p>○酒田市の文化芸術に関する施策について課題や問題点の洗い出しを行い改善していく方策を検討する。</p> <p>○庁内・庁外の他分野との協働促進相談</p> <p>○廃校活用</p> <p>○文化芸術推進計画及び文化庁助成事業に関する職員研修</p>
8 専門性の高い文化の仕掛け人の配置				

条例/基本的施策No.	事業名等	事業内容	事業内容	詳細
14 酒田らしいまちの景観の保全と魅力の創出	さかた湊町文化復興事業費補助金	<p>【旧グランドキャバレー白ばらを活用した中心市街地活性化事業】</p> <p>目的:旧グランドキャバレー「ナイトスポット白ばら」を酒田市文化・観光の拠点のひとつとして再生させるとともに、湊町酒田の中心市街地の賑わい創出を目的に補助金を交付するもの。</p>	○実行委員会による事業	[白ばらルネサンス委員会主催事業として、年4回程度の事業を実施予定]
20 市民の視点にたった情報発信・広報戦略	デザイン研修	<p>【デザイン・コンテンツ・プロモーション等に関わる研修会の開催】</p> <p>目的:文化芸術推進計画の基本施策の一つである広報戦略の向上を目的に実施するもの。 講師:東北芸術工科大学教授を想定</p>	○デザインに関する研修会	調整中
2 誰もが文化芸術に親しむことが出来る文化的環境の整備 10 文化芸術による社会包摂	市民芸術祭実行委員会負担金	<p>【酒田市民芸術祭 障がい者文化芸術活動振興事業】</p> <p>目的:障がい者アート作品展を開催し、広く市民の方々に文化芸術の多様性を感じてもらうとともに、障がい者の社会参加を促進する。</p>	○障がい者アート作品展の開催	[市民芸術祭の開幕式典に合わせて文化芸術団体と協働で障がい者のアート作品展を開催] ○日時:平成30年9月7日(金)～9日(日) ○会場:希望ホール小ホール
2 誰もが文化芸術に親しむことが出来る文化的環境の整備 3 学校教育における文化芸術活動の充実 5 文化芸術活動を支える人材の育成 10 文化芸術による社会包摂	希望ホール自主事業開催事業	<p>【希望ホール自主事業(社会教育文化課企画事業)】</p> <p>目的:すべての市民が気軽に参加できる体験型ワークショップの開催や教育や福祉等の他分野と連携を図りながら、文化的環境の整備に努めるとともに、文化芸術による社会の課題解決の一助になる展開を目指す。</p> <p>内容:市民が気軽に参加できる体験型ワークショップの開催や不登校の生徒が通う学校、特別支援学校等へのアウトリーチ、参加型ワークショップなど</p>	○ダンス事業	<p>[えんがわダンス(コミュニティカフェ付き)]</p> <p>○目的:ダンスが好き、健康のために身体を動かしたい、友達をつくりたいなど、人と人がつながるきっかけづくりをダンスをとおして行う</p> <p>○会場:希望ホール ○対象:どなたでも ※ダンス経験不要 ○参加費:有料</p>
			○ダンス事業	<p>[公共ホール現代ダンス活性化事業](継続事業)</p> <p>○日時:平成30年10月3～6日(土) ○会場:希望ホールほか ○講師:大駱駝艦 田村一行氏 ○内容:ワークショップならびにアウトリーチ ○訪問先:酒田市内小中学校を予定</p>
			○アート体験事業	<p>[夏休み企画★ときひろ先生とあそぼう!]</p> <p>○日時:平成30年8月9日(木)・10日(金)2日間 ○会場:未定 ○講師:佐藤時啓氏(東京藝術大学教授/酒田市出身) ○内容:虫めがねでカメラを製作し撮影するなど、佐藤時啓先生ならではの体験企画 ※その他、アート体験事業を実施予定。</p>
			○アーティスト座談会	<p>[希望ホールフェスティバル(仮称)]</p> <p>○日時:平成31年2月予定 ○会場:希望ホール ○内容:市民が気軽に参加できる文化芸術活動の発表並びにアート体験</p>
			○アーティスト座談会	<p>[第2回アートの力 酒田市出身アーティストによる座談会](継続事業)</p> <p>○日時:10月27日(土) 時間未定 ○会場:酒田市総合文化センターホール ○出演:佐藤時啓氏(東京藝術大学教授)白崎映美氏(歌手)、岡田修氏(津軽三味線奏者)</p>



平成 30 年 5 月 8 日

酒田記者クラブ加盟社 各位

酒田コミュニケーションポート（仮称）整備実施計画を策定しました

このたび、駅前再開発に伴い整備する公共施設（酒田コミュニケーションポート）の事業・管理運営に係る実施計画を策定いたしました。

本計画は、平成 29 年 3 月に策定した整備基本計画を具体的な実行に移すための方法論等を検討したものです。

今後、基本計画・実施計画に基づき、円滑な開館に向け準備を進めてまいります。

◆ポイント

- ・魅力ある蔵書構成を構築するため蔵書計画を定めました。
- ・ライブラリーセンター及び観光情報センターの開館時間について、現行より 2 時間拡大します。
- ・所管する行政組織は、教育委員会とします。
- ・運営手法は、市民サービスの向上を図るなどを目的とする官民協働の仕組み（指定管理者制度）を導入します。
- ・官民複合施設としての強みを生かすため、再開発エリア内の関係者での連携体制の構築を図ります。

※ パブリックコメント結果及び実施計画（全文・資料編）については、市ホームページで公開いたします。

URL⇒<http://www.city.sakata.lg.jp/shisei/shisakukeikaku/kikaku/ekishuhen/ekisyuuhenseibi.html>

●お問い合わせ／都市デザイン課コミュニケーション
ポート開設準備室 本間宏樹
TEL 26-6274、FAX 26-6482
Eメール toshi-design@city.sakata.lg.jp

酒田コミュニケーションポータル（仮称）整備実施計画【概要】

1 策定目的

整備基本計画（H29.3策定）を具体的な実行に移すための方法論等の検討。今後の酒田コミュニケーションポータルの事業計画や施設管理運営上の基礎となるもの。

2 基本理念及び基本方針〔整備基本計画（H29.3）〕

○基本理念

知（地）のアリーナ

～ヒト・モノ・コトが行き交い、多様なコミュニケーションが創出され、
知（地）的好奇心がインスパイアされるみんなの居場所～

○基本方針

学び、成長する場

… 地域を知り、学び、好きになる。
市民の知的好奇心に応え、支援し、暮らしを豊かにする。

交流の場

… 日常のライフシーンに応える。
市民も、観光客も寛ぎ、交わる。

情報発信の場

… 庄内地方、酒田らしさを積極的に発信する。
明確な情報が拡散、口コミで広がる。

子育ての場

… 親子で気兼ねなく、安心し、利用できる。

3 実施計画

(1) 施設計画

① 酒田駅前地区第一種市街地再開発事業の全体施設計画

- ・広場を中心とした一体的整備を行う。
- ・広場に面する各機能による賑わいの相乗効果を図る。

② 酒田コミュニケーションポータル施設計画（公共施設部分）

<A棟部分（ライブラリーセンター、観光情報センター、カフェ）の特徴>

- ・酒田駅側から広場側にかけて、L字型の大きな空間の整備を行う（賑わいと憩いが同居するパブリックゾーン〔酒田の土間・緑側〕）。
- ・駅側に観光情報センター、広場側にカフェ、新聞・雑誌コーナー、企画イベントコーナーを設け、市民等が行き交い、くつろぎ、交流する場を創出する。

(2) サービス計画

① 多様な居場所や使われ方のための方策

- ・1階企画コーナーは、広場、ホテルと面し、多様な来館者のたまり場、出会いと交流の場。多様な展示やイベントに利用。
- ・雑誌コーナー及び当日の新聞コーナーは年中無休で開放（年末年始除く）。
- ・親子連れで気軽に立ち寄ることができる児童コーナー。

- ・2階ラーニングコモンズは、中高生によるグループ学習など多様な学習の場の創出。
- ・3階フリースペース、グループ活動室（研修室）は、講座・講演会など多彩なイベントに利用。

② レファレンスサービスの充実に向けた方策

- ア レファレンスサービスのアピール ・専用デスクの設置や積極的なサービス案内・広報。
- イ レファレンス提供の環境の充実 ・カウンター、フロア問わずどの持ち場でも対応。高度・専門的な資料の検索や回答時間を要する問合わせへの対応。

ウ レファレンス事例等の蓄積と公開

- ・レファレンス事例の蓄積、データベース化による市民への公開。
- ・利用者が効果的・容易に求める情報をアクセスできるような情報源の公開。

エ レファレンスサービス技術の平準化と高度化

- ・自己研鑽と定期的研修による対応技術の平準化と高度化。
- ・東北公益文科大学図書館や専門図書館・機関との連携による問合せ先の充実。

オ チームとしての体制強化

- ・ケーススタディの共有化、回答アプローチへのチームでの検討。定期的な打合せなどを通じてのチーム全体でのレベルアップ。
- ・参考図書の実践やオンラインデータベースシステムの導入の検討等。

③ 課題解決支援の強化に向けた方策

- ア 地域に根差したサービスの実施 ・地域に求められる課題のニーズの把握。
- イ 他の機関との連携の推進 ・多様な機関との連携、ネットワークの構築。
- ウ 情報発信 ・積極的なサービス案内・広報。

エ チームとしての体制強化

- ・地域課題の共有化、定期的な打合せや勉強会を通じてのチーム全体のレベルアップ。

④ 酒田らしさの発信、酒田の玄関口としての案内強化のための方策

- ・1階の観光情報センター横に、「酒田本コーナー」を設置し、酒田の魅力、歴史、文化のアピール。
- ・観光情報センター脇には、光丘文庫や本市ゆかりの作家・偉人等をアピールするコーナーの設置。

⑤ 他機関との連携の具体的方策

ア 学校図書館との連携・支援強化

- ・小中高生の各年代が持つ興味関心に応じた、図書館事業への参加の仕組みづくり。
- ・学校図書委員（児童生徒）を対象とした図書館体験活動やワークショップ等の開催。
- ・小中高生の読書活動及び調べ学習等への支援。
- ・図書専門員等職員への支援（学校図書館の運営管理に関する研修会、図書資料等の情報提供）
- ・学校教材として、ライブラリーセンターや光丘文庫の地域資料、郷土資料の活用。

イ 東北公益文科大学との連携

- ・大学生と中高生とが一緒にグループ学習や研究活動ができる環境づくり。
- ・大学と小中高校、大学生と児童生徒をつなぐ仕組みづくり
- ・図書資料の相互貸借による資料情報の共有や連携企画。
- ・大学の研究成果や、学生活動を展示・発表できる場の提供。

- ⑥ 観光情報センターのあり方について ・多岐に渡るテーマ実現のため、様々な観点で引き続き検討。
- ⑦ ICT 機器を活用したサービス ・時代のニーズ、技術進化等を踏まえた最新の ICT 機器の導入。

(3) ライブラリーセンター蔵書計画

① 蔵書基本方針

これまで、規模の課題等から充実を図ることが出来なかった分野や基本計画の基本理念・基本方針の実現のために求められる分野等を強化し、魅力ある蔵書構成を構築する。

- ② 資料収集方針 資料別の収集方針を定めるもの。
- ③ 資料選定基準 部門別等の資料選定の判断の要点を定めるもの。
- ④ マンガ資料に関する選定基準
- ⑤ 除籍候補資料選定基準 計画的な蔵書構築に資するため、除籍資料の候補を選定するための基準を定めるもの。資料種別ごとの保存年限の設定。

⑥ 図書等の寄贈に関する取扱基準

図書等の寄贈の受入れについての基準を定めるもの。郷土関係資料、稀覯（きこう）本等。

⑦ 蔵書構成（目標）

部門別等の蔵書構成の最終目標冊数を設定し、蔵書計画に基づく運用と、毎年度の図書購入費（予算）を考慮しながら、年次的な整備を実施する。

4 管理運営計画

(1) 開館時間及び休館日

- ・ライブラリーセンター及び観光情報センターの開館時間を2時間拡大する。
- ・基本計画で検討していたライブラリーセンターの定期的休館日は、企画展示、各種講座等のサービスの質の向上を図っていく必要があることや、現在の中央図書館の状況、民間施設との連携・協議等を踏まえながら、今後継続検討。
- ・雑誌コーナー及び当日の新聞コーナーは休館日にかかわらず開放。

<新施設運用方針>

施設区分	開館時間		休館・休業日
	月～土	日、祝	
ライブラリーセンター	9:00～21:00	9:00～19:00	図書整理期間（7日以内）、12/29～1/3
観光情報センター	9:00～19:00	9:00～19:00	12/31～1/2
カフェ	9:00～21:00	9:00～19:00	12/31～1/2
駐車場	24時間	24時間	年中無休
広場	9:00～21:00	9:00～21:00	年中無休

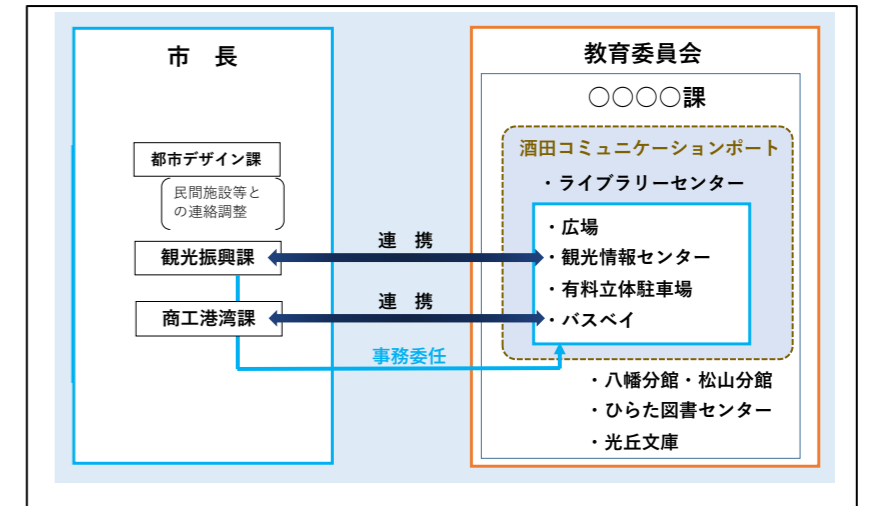
(2) 施設使用料

広場、館内3階グループ活動（研修）室、立体駐車場の使用料の設定は、貸出しを行うスペースの性格や市が負担するコストと利用者負担を踏まえ、近隣の類似施設の金額設定の状況も参考にしながら設定を検討。

(3) 運営組織

① 行政組織

- ・所管する行政組織を一本化することを基本とし、教育委員会が所管する。
- ・庁内関係課と連絡調整する場の設置し、円滑な事業推進を図る。
- ・開発エリア内民間施設や駅前地区関係団体（JR、商店街等）との連絡調整は、当面、都市デザイン課が担う。



② 運営手法

ア 運営手法の方針

酒田コミュニケーションポート施設一括での指定管理者制度を導入する。

(考え方)

- ・基本理念を目指し、周辺民間機能との連携、新たな付加価値（技術力）、独創性、柔軟性等の民間ノウハウを積極的に活用し、サービスの向上、まちの活性化を図る。
- ・市行財政改革推進計画に基づき「民間でできるものは民間に」（民間資源が充実しているものは民間に）の考えのもとで、民間活力の積極的な導入を図る。
- ・多様な市民ニーズに応えるためには、複数の機能が集約するメリットを最大限に生かした一体的な運営の必要性がある。
- ・市全体の限られた資源（定員、財政）の中で、多様な市民ニーズやサービスの質の維持・向上に対応する。

イ 指定管理者制度のデメリットに対する考え方

公共施設の設置主体（設置管理者）である市が責任を持って統括管理し、指定管理者はその設置目的に基づき運営を担っていくという役割分担を明確化する。

○ノウハウや経験の継承に対する配慮

(対応例)

- ・責任者や重要な担当者について、当該施設に関連する知識やノウハウを十分に有する者として条件づける。
- ・当該施設の運営に詳しいアドバイザー等を運営方針づくりや運営評価等に参画していただく。
- ・業務の引継ぎ時間を十分に確保し、しっかりした引継ぎを行う。

○人件費の抑制などコスト削減によるサービス低下

(対応例)

- ・先進事例を参考に、サービス水準の設定、利益・労働条件等の適正、行政関与方法（モニタリング等）等について、客観的かつ適正な運用を図り、設置主体としての責務を果たす。

エ 市と指定管理者との役割分担

行政と指定管理者の連携・信頼関係構築が極めて重要。行政は、主に統括、ビジョン策定や客観的かつ厳格な評価・指導に重点を置き、設置主体としての責務を果たす。

行政と指定管理者は、施設の政策目標を実現するため、ビジョンとミッションの共有を図り、それぞれ役割を明確化し、日々の業務においては、定期的な調整会議を設定するなど連携体制を形成。

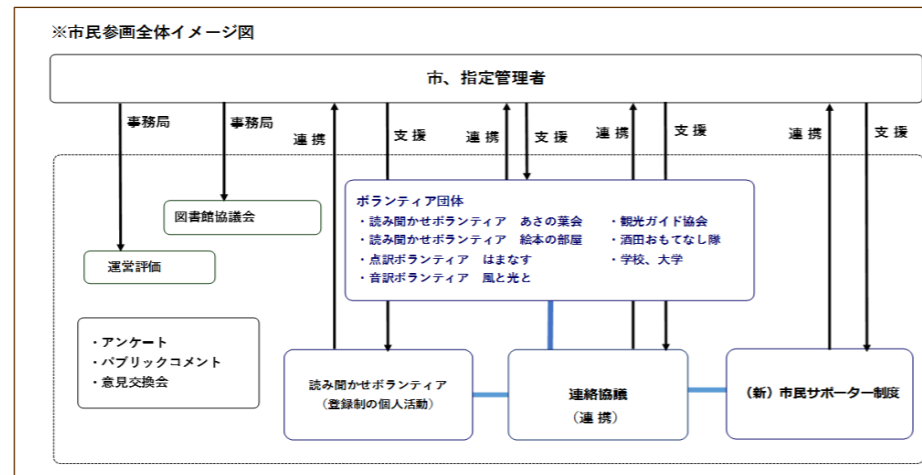
③ 配置人員

開館時間の延長、蔵書数・カウンター増加などのサービスの向上を図るとともに、観光情報センターの運営などを考慮し、人員の増強が必要。必要配置人員数は、施設全体で30名程度想定（カフェ運営は除く）。

(4) 市民参画

市民参画の手法の検討の視点

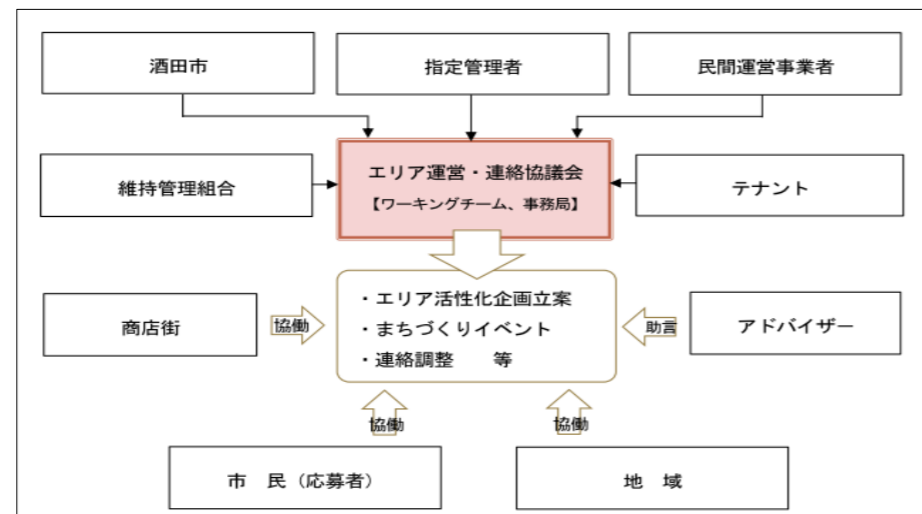
- 誰でも参加できる市民サポーター制度（登録制）の導入
- 既存ボランティア団体等と市民サポーターを繋ぐ場の設置
- 中高生などの若い世代が参画しやすいような仕組みづくり（学校との連携）
- 手続不要、自由参加でアイデアや企画を意見交換できる緩やかなオープンな場の設定
- 施設目標の達成状況等の評価を行うための協議体の設置 など



(5) 再開発エリア内の連携

駅前地区の活性化を図るため、官民複合施設としての強みを活かし、各機能が相乗効果を発揮していくための連携体制の構築を進める。

市民、周辺地域の関係団体等とも連携を図る。



(6) 愛称、ロゴマーク等の検討

多くの市民や来街者から親しまれ、愛される施設を目指し、認知度の拡大やイメージアップの推進のため、愛称、ロゴマーク等の検討を実施。

5 移転計画

(1) ライブラリーセンター

① 蔵書の移転準備

蔵書点検、移転する蔵書と廃棄する図書の選別の実施。ライブラリーセンター配架位置の詳細確定。

② 図書システム更新等

現中央図書館のシステム更新の実施。

③ 備品関係

移転するものと廃棄するものとの仕分け。

④ 利用者登録

事前周知による新規利用登録の開館前の実施促進。

⑤ 移転閉鎖中の図書サービスの提供

分館及び東北公益文科大学図書館の利用促進。中央図書館の一部機能（学習室、新聞閲覧等）の開放検討。

⑥ ライブラリーセンターへの習熟

開館時からの円滑なサービス提供を目指し、様々なシミュレーション、システム運用の確認・調整。

⑦ 広報

利用者の混乱を極力少なくなるよう、経過等の市広報などでの周知徹底。

⑧ スケジュール

最大で5月程度を想定し、詳細な期間は、今後詰める。

(2) 観光情報センター

① 新施設への習熟

開館時からの円滑なサービス提供を目指し、様々なシミュレーション、システム運用の確認・調整。

② 広報、サイン計画

利用者の混乱を極力少なくなるよう、経過等の市広報などでの周知徹底。駅前における観光情報センターの移転場所が分かる案内表示。

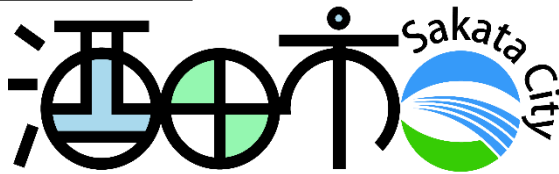
6 今後のスケジュール

- 平成30年度 ・工事着工（～平成31年度） ・運営事業者募集 ・愛称、ロゴ決定（必要に応じて）
- 平成31年度 ・開館準備
- 平成32年度 ・開館準備 ・A棟先行オープン
- 平成33年度 ・グランドオープン

7 駐車場対策

(1) A棟先行オープン時の駐車場対策の検討

(2) グランドオープン当初、イベント開催等時の駐車場対策の検討



平成 30 年 5 月 8 日

酒田記者クラブ加盟社 各位

酒田まっりの開催について

このたび、酒田まっりを下記のとおり開催します。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント（昨年からの主な変更内容）

○宵まつりは、マリーン5 清水屋前の国道 112 号で行われ、8 年ぶりに立て山鉾が中町で巡行します。

○本まつりは、子供山車を中心とした山車行列が午前の部として午前 10 時から行われ、午後の部として午後 1 時から渡御行列・山車行列が練り歩きます。

○獅子パクンは大通りで、午前 10 時から行われます。

○式台の儀は、旧燈屋前で行われます。

○花魁道中及び黒森歌舞伎が、国道 112 号のコース上で演じられます。（午後 1 時 30 分～2 時 20 分の予定。花魁道中の記念撮影は、マリーン5 清水屋前で行われます）

○秋田・酒田交流事業として、ユネスコ無形文化遺産に認定された「土崎神明社祭の曳山」が山車行列に参加します。平成 28 年度以来の 2 回目の参加です。

- 1 神宿開き 5 月 15 日（火）
 - 安全祈願祭 午後 3 時～ 中町モール
 - 神宿開き 5 月 15 日（火）～21 日（月）
 - ・上神宿 秋葉神社 上本町 1-7
 - ・下神宿 最上屋旅館 中町二丁目 2-16
- 2 露店 5 月 19 日（土）～21 日（月） 午前 9 時～午後 10 時
 - ・出店数約 350 店舗を予定
- 3 宵まつり 5 月 19 日（土） 午後 5 時 20 分～8 時 30 分
 - ・国道 112 号（荘内銀行～佐藤伝兵エ薬局）で開催
- 4 本まつり 5 月 20 日（日） 午前 10 時～午後 5 時
 - ・午前の部 山車行列 午前 10 時～11 時 50 分
 - ・式台の儀 正午～
 - ・午後の部 渡御行列・山車行列 午後 1 時～午後 5 時（予定）

●お問い合わせ／交流観光課観光戦略係
庄司英一

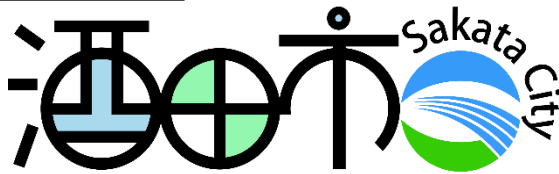
TEL 26-5759、FAX 22-3910

Eメール kankou@city.sakata.lg.jp

2018年（平成30年度）酒田まつり事業計画

名 称	2018年酒田まつり
期 日	平成30年5月19日（土）・20日（日）・21日（月）
主 催	酒田まつり実行委員会 （主管 事務局：一般社団法人 酒田観光物産協会）
共 催	酒田市、酒田商工会議所
協 賛	協賛依頼事業所（前年度428事業所/前々年度407）
提 灯	協賛依頼本数（前年度140本）
天候及び 入り込み （前年度）	19日（金）晴れ 50,000人 20日（土）晴れ 175,000人 21日（日）晴れ 31,000人 合計 256,000人（対前年26,000人減）
露 店	一般286/興業・植木・金魚・商店21 合計307店（前年度）
	商店出店/4店（前年度）
	申請受付5月11日・許可証交付19日（酒田市体育館）
触れ囃子	19日・20日
警 備	酒田警察署・酒田まつり警備協力会・実行委員会
広 報 活 動	ポスター印刷B2版1,600部 配布箇所：協賛企業、自治会、商店街、首都圏等公共施設、観光施設、スーパー、ホテル、団体等
	酒田/遊佐/余目一円5/15新聞折り込みチラシ約40,650世帯分（山形新聞、読売新聞、毎日新聞、朝日新聞）会場1,500部
全体テーマ	～「ひとつになる酒田まつり」～
山車・みこし 行列テーマ	～「歴史を踏まえた形の山車」～ ※参加団体の法被など衣装の統一のご協力をお願いします。
安全祈願祭 15日（火）	◎安全祈願祭〈新中町モール〉15:00～15:30 酒田まつり参加団体関係者による祈願祭
神宿開き 15日（火）	◎神宿開き（5月15日～21日）8:00～20:00 ○鉾立て神事（5月16日） 《上神宿》 秋葉神社 《下神宿》 最上屋旅館 酒田市上本町1-7 酒田市中町2-2-16
献 花 展	19日～21日 市内7流派による献花展 場所：旧鑑屋〈酒田まつり期間中19日～21日入館料無料〉
「匠の会」木工 作品展・即売会	酒田伝統工芸「匠の会」木工作品展即売会 18日12:00～17:00/19日9:00～17:00/20日9:00～16:00 場所：清亀園 内容：組子屏風・酒田光丘彫 約50点

<p style="text-align: center;">宵 祭 り 19 日 (土)</p>	<p>17:20 ◎宵祭り開始</p> <p style="text-align: right;">ゾーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ○獅子パクン 「獅子パクン」 ○新町金平獅子舞保存会 「パフォーマンス」 ○風の会ジュニア 「立て山鉾」 ○黒森歌舞伎 「パフォーマンス」 ○庄内おばこ華の会 「立て山鉾」 ○実行委員長/酒田市長/遊佐町長挨拶 「立て山鉾」 ○立て山鉾点灯式 「立て山鉾」 ○シンセサイザー 「パフォーマンス」 ○獅子パクン 「獅子パクン」 ○酒田舞娘 「立て山鉾」 ○夢双烈風 (よさこい) 「パフォーマンス」 ○八波會 (お御輿) 「獅子パクン」 ○酒田北前大太鼓 「立て山鉾」 ○立て山鉾巡行/山車巡行 「全」 <p>20:30 ◎閉会</p> <p style="text-align: right;">「立て山鉾」ゾーン ⇒庄内銀行～清水屋前 「パフォーマンス」ゾーン⇒三日月軒前 「獅子パクン」ゾーン ⇒カナヤ～伝兵エ薬局前</p>
<p style="text-align: center;">本 祭 り 20 日 (日)</p>	<p>10:00 ◎山車行列出発</p> <ul style="list-style-type: none"> ○仔獅子や子供山車中心「獅子パクン」 (市庁舎前出発) ◇立て山鉾巡行 (産業会館前) <p>11:50 ◎式台の儀セレモニー《旧鑑屋前》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事前紹介・参列者紹介・ゲスト紹介 (本間家・酒田三十六人衆・平泉町・平泉観光協会等) <p>12:00 ◎式台の儀《旧鑑屋前》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○開会の辞 (酒田商工会議所会頭) ○獅子舞 (亀ヶ崎獅子舞) ○祝い言 (酒田市長) ○祝い言 (上・下神宿委員長) ○祝い唄 (きやり保存会) ○盃 事 (若衆・巫女) ○閉会の辞 (酒田市自治会連合会長) <p>13:00 ◎山車行列出発</p> <ul style="list-style-type: none"> ○渡御行列 (産業会館前通過) ○時代風山車など (市庁舎前出発) ○土崎港曳山 (市庁舎前出発) <p>13:30 ◇酒田花魁道中/黒森歌舞伎 (国道 112 号線)</p> <p>16:00 山車行列終了</p> <p>※渡御行列はコース合流後・産業会館前通過して市役所前通過 山車の待機/スタート場所は「市庁舎駐車場」</p>



平成 30 年 5 月 8 日

酒田記者クラブ加盟社 各位

IWC2018「SAKE 部門」やまがた開催記念 日本酒チャリティ試飲会の開催について

このたび、IWC2018「SAKE 部門」やまがた開催記念チャリティ試飲会を下記のとおり開催します。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

○IWC（インターナショナル・ワイン・チャレンジ）とは、イギリスのウィリアムリード・ビジネスメディア社が主催するワイン品評会です。日本酒を審査する「SAKE 部門」は 2007 年に設けられており、審査会の国内開催は、東京都・兵庫県に続き、3 回目です。

○IWC2018「SAKE 部門」審査会は、5 月 13 日（日）～16 日（水）に山形ビックウィングで開催され、5 月 18 日（金）にホテルメトロポリタン山形にてメディア・バイヤー向け試飲会およびトロフィー授賞式が行なわれます。

○チャリティ試飲会は県内 5 会場にて行なわれ、5 月 19 日（土）に新庄・鶴岡・酒田、20 日（日）は山形・米沢を会場に開催されます。

【チャリティ試飲会 酒田会場の詳細】

○日時／5 月 19 日（土）午前 11 時～午後 4 時

○場所／中町にぎわい健康プラザ（酒田市中町二丁目 4-12）

○チケット／前売券 2,000 円 当日券 2,500 円

プレミアムチケット（四合瓶大吟醸付） 5,000 円

◆チケットは各プレイガイド（チケットぴあ、ローソンチケットなど）で購入できます

◆会場定員数に達した場合、当日券の販売を中止する場合があります

○内容／・チケット購入者には、チャリティ試飲会限定お猪口を差し上げます

・IWC 出品酒 5 杯と酒田・遊佐が誇る地酒 5 杯の計 10 杯が楽しめます。（試飲ブースにて限定お猪口を提示してください）

・(株)山形飛鳥さんのイカの塩辛食べ比べセット（酒田会場限定品）ほか、ご協賛店からの様々なおつまみがもらえます。

●お問い合わせ／市交流観光課観光戦略係

小山 薫

TEL 26-5759、FAX 22-3910

平成 30 年 5 月 8 日

酒田記者クラブ加盟社 各位

いか釣り船団出航式の開催について

6月6日(水)酒田港において、今年で12回目となる「いか釣り船団出航式」を開催します。式典に続き、五色のテープと勇壮な和太鼓の演奏とともに11隻の中型いか釣り船を盛大に見送ります。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

スルメイカは酒田港に水揚げされる主要品目であり、いか釣り船団には酒田出身者が数多く乗船しています。色鮮やかな大漁旗をはためかせた船団が出航していく様子は、酒田に初夏を告げる風物詩となっています。

市では、いか釣り船団の航海の安全と大漁を祈願すると同時に、「いかのまち酒田」を全国に発信し、水産業をはじめとする地域産業の振興を推進します。また、スルメイカの酒田港への水揚げ促進を図るため各種支援を充実します。

○日時／6月6日(水) 午前10時30分～午後1時30分(予定)

○場所／酒田港袖岡ふ頭・水産第2岸壁(定期船「とびしま」発着所の対岸)

※雨天時は山形県漁業協同組合で行います。

○内容／(1)式典・・・午前10時30分～11時

あいさつ(主催者、来賓、船団長)、船団紹介、花束贈呈など

(2)交流・・・午前11時～

アトラクション(舞娘演舞・演歌)、いか焼きなど水産物の販売

(3)出航・・・正午～

太鼓道場「風の会」による演奏、五色の紙テープによる見送り

○いか釣り船団への支援について、ガバメントクラウドファンディングにより、5月1日より寄附を募ります。



●お問い合わせ／

【出航式関連】

市農林水産課水産振興係 長谷川正彦

TEL 26-5753 FAX 26-6483

Eメール norin@city.sakata.lg.jp

【クラウドファンディング関連】

交流観光課ふるさと納税担当 川島崇史

TEL 26-5736 FAX 28-8711

Eメール furusato@city.sakata.lg.jp

(参考)

1. いか釣り船団出航式について

- 平成 18 年に第 1 回を開催し、今回で 12 回目（平成 23 年は開催せず）。
- 出航式には山形県船友漁撈長会所属の 11 隻が参加予定。操業時には日本海で最大 13 隻になる予定。
- 主催は、酒田市、山形県漁協協同組合。
- 出航式の趣旨は以下の通り。

船団は酒田港を出港した後、1 カ月ほどは寄港せずに漁を続ける。そのため、出航式の式典の後には、長く続く漁の安全や大漁を祈願するとともに、家族や親せきなどとの懇談、漁船の整備のためにお世話になった方々への感謝を表することを目的としています。

- ◆取材に当たっては、船団の皆さんが心おきなく出航できるよう、懇談などの時間確保にご配慮願います。

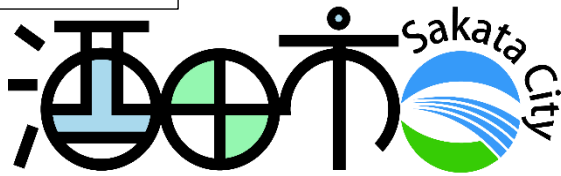
2. いか釣り漁業について

- 中型いか釣り船の大きさは 131 トンから 184 トン（参考：230 人乗りの定期船「とびしま」が 253 トン）。
- 乗組員には酒田市出身、特に漁労長には飛島の方が多い。なお、酒田市外国人漁業研修生受入事業協議会のインドネシア人実習生 32 人も乗船している。
- 6 月に酒田港を出港したいか釣り船団は、日本海をいったん南へ下り、スルメイカの群れを追いかけてながら北海道沖やロシア海域まで北上し、2 月ごろまで操業を続ける。
- いか釣り船団の船は冷凍船であり、釣ったその場で急速冷凍保存して「船凍いか（せんとういか）」にする。そのため、解凍したスルメイカは鮮度が高く刺身用にも適している。
- 平成 29 年度の酒田港のスルメイカ水揚量は 2,320 トン、水揚高は約 13 億円で酒田港全体の 8 割を占めている。

3. いか釣り船団への支援について

- 今年度の本市支援策として、①船凍イカ収納ダンボール購入費の補助、②屋外風呂やレンタカーなど乗組員の生活環境支援、③水揚量および入港回数に応じて酒田産米つや姫を贈呈、④「酒田船凍いか」のブランド化による所得向上支援などを予定している。
- 支援は、ガバメントクラウドファンディング（5 月 1 日～7 月 31 日まで）により、事業への寄附を募集。寄附は、ふるさと納税の対象となり、スルメイカの加工品や本市の特産物を返礼品とする。

※ガバメントクラウドファンディングとは、インターネットを通じて不特定多数の人から事業資金を募ること



平成 30 年 5 月 8 日

酒田記者クラブ加盟社 各位

酒田ととけん応援まつりについて

「ととけん」の愛称で親しまれている日本さかな検定を 6 月 24 日（日）酒田市公益研修センターで開催します。この前日午後と当日午前に検定会場周辺で、市内外から訪れる受検者だけでなく、誰でも楽しめる「酒田ととけん応援まつり」を開催します。

庄内浜文化伝道師のお魚弁当や海産物の販売、検定に出るかも知れない庄内浜の魚の魅力を語るトークショーや、JF 全漁連シーフード料理コンテストで農林水産大臣賞を受賞した玉谷貴子さんのアジサンドの振る舞い、県立加茂水産高等学校の研究成果展示などを企画しています。

つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

- ・‘触れる・食べる・知る’体験により地元水産業や魚食文化に親しむ。
 - ・全国 9 つの開催地のうち、酒田会場で受検したくなる魅力を発信する。
- （参考）ととけん受検申し込みは 5 月 21 日（月）締め切り。※団体受検は 5 月 14 日

○主催／ととけん酒田実行委員会

○日時／6 月 23 日（土）午前 11 時～午後 3 時

6 月 24 日（日）午前 9 時 30 分～午後 1 時 30 分

※検定は午後 0 時 50 分～4 時 20 分

○場所／酒田市公益研修センター（東北公益文科大学内）

○内容／（1）オープニングセレモニー 6 月 23 日（土）午前 11 時～

（2）主なイベント内容

触れる	海の生き物タッチプール、子ども魚つかみ取り大会
食べる	鮮魚即売会(数量限定)、海鮮浜焼き、庄内浜文化伝道師による柿の葉寿司、魚弁当や魚から揚げの販売、酒田のお土産品等物産販売
知る	「庄内浜の魚の魅力」トークショー 水産研究成果パネル展示（県立加茂水産高等学校）
その他	漁業相談窓口の開設（新規漁業就業者確保）

●お問い合わせ／

ととけん酒田実行委員会事務局

（市農林水産課水産振興係内）長谷川正彦

TEL 26-5753 FAX 26-6483

Eメール norin@city.sakata.lg.jp